



豊かな感性
高い知性

知高進路通信

北海道知内高等学校
進路指導部通信 第2号
令和元年5月31日発行
文責 齊藤洋平

企業訪問から

現在、進路指導部では、卒業生が就職した企業の訪問をしています。そこで、高校生たちが学校生活の中で何を学び、何ができるようになってきてほしいのかを聞いてきました。

1 職業に関すること

- (1) 製菓、パン作りは、生徒本人がイメージしているよりも体力を使い、とてもハードな仕事であるため、そのことを覚悟して入社してほしい。
- (2) 販売や接客をする仕事なので、どんなときでも笑顔でいられ、誰にでも挨拶をしっかりとできるようになってほしい。
- (3) 接客業は、とにかく人と接するのが好きでなくてはならない。
- (4) 介護職は、優しさや素直さを求めている。資格や技術は働いてからでも取得できる。



2 身に付けてほしいこと

- (1) スマートフォンの使い方、情報モラルについての社会一般の常識を身に付けてきてほしい。 使い方によっては、会社に大きな損失を与えたり、家族を巻き込む事態になったりする場合があることを自覚してほしい。
- (2) 会社は幅広い年齢層で構築されており、その中でコミュニケーションを取っていかねばならない。また、会社には伝統があり、それを担っていく人材になってほしい。さらに、将来的に自分がどうなりたいかというビジョンを持ってほしい。
- (3) 地元のことや地元の人に興味関心を持ってほしい。このことがゆくゆくは会社への貢献に繋がり、地域貢献をすることに繋がる。
- (4) 特別な能力や資格を求めてはいない。それよりも、素直である、挨拶ができる、礼儀作法を身に付けている、明るく笑顔を絶やさないでいられる、頑張っ
て学ぼうとする姿勢を身に付けてほしい。(複数社回答)
- (5) 自発的な行動を取れるようにしてほしい。(分からないことがあったら聞く、時間が余ったら他の仕事を探す、手伝うなど。)
- (6) 部活動をやり、人間関係の築き方やコミュニケーションの取り方を学んできてほしい。(複数社回答)



このように、当たり前と思われるようなことこそ身に付けてほしいということでした。しかし、これらのことは一朝一夕でできるものではなく、毎日継続するからこそ身に付くものです。ぜひ今後の学校生活で取り組んでいってください。

今月のNEWSトピックス

- ・大学等における修学の支援に関する法律案
- ・外国人労働者の受け入れ本格化（外食業は7月から）
- ・大樹町で民間ロケット打ち上げ成功

日本学生支援機構について

先日可決された法案（左記）によりご案内が遅れておりますが、後日学校からご案内いたします。